

地域課題解決プログラム成果発表会

2011年3月18日（金）盛岡市産学官連携研究センター1階大会議室

研究課題（演題）：久慈市主要産業（縫製業）の活性化手法の検討 ～ブランドイメージを演出するための映像制作～

発表者：武野千紘・菊地優（教育学部芸術文化課程4年）

指導教員：本村健太（芸術・スポーツ学系教授）

序 研究課題の発端 - 「ナチュラルロリータ（ナチュロリ）」系新ブランドの立ち上げ

本研究課題への着手に先立って、2010年2月8日、スパニッシュライツ（岩手県盛岡市菜園）にて、久慈市の縫製工場株式会社プランタンいずみと株式会社ホップス（盛岡市）は共同で「ロリータインキュベーションプロジェクト」発足及び「ナチュラルロリータ（ナチュロリ）」系新ブランド立ち上げを発表した。

この発表会当日には、後に本研究課題の担当者となる武野千紘・菊地優・本村健太も参加し、新ブランド「MiELette Tautou（ミエレットトトゥ）」についての認識を深めるとともに、関係者との人的交流も行った。



MiELette
Tautou



図：ナチュロリブランド「MiELette Tautou（ミエレットトトゥ）」のロゴとイメージ

I 本研究課題について

1. 地域より提案された課題の概要とその背景

久慈市において縫製業は就労割合も比較的が高く、基幹産業となっているといえるが、中国等の海外の安い人件費を背景にした下請業務の海外流出が顕著となり、久慈地域の縫製業を活性化するためには、価格競争よりも質等の付加価値をつけたブランド化及びそのPRが必須とされている。とくにファッションショーや広告等におけるイメージ戦略への期待が高まっているところである。

2. 本課題の研究課題としての妥当性と、この研究（計画）の目的及び予想される結果

久慈地域の縫製業者が生産する衣服のPR方法研究として、映像・写真・イラスト等のイメージ戦略を検討し、具体的なイベントの企画や演出等に進展させていくことは地域の発展につながる課題であり、他の地域においても可能性をもつ有意義な研究活動であるといえる。当該研究室においては、指導教員がイベント等での映像演出の経験をもち、学生においても映像作品の発表・受賞をしているので、ファッションショー等の映像演出においては確実な成果（卒業制作）が得られると予想される。

3. 研究成果の地域への還元の方法

衣服のPR方法の研究を通じて話題提供や顧客の拡大を目指しながら、効率的な方法を確立し、イメージ戦略によるブランディングを進める。その成果を、久慈市内の縫製業者のPR活動に応用することによって地域産業の活性化につなげていく。

II 本研究課題の実施報告

1. 本研究課題に関する打ち合わせ

本研究課題への着手にともない、2010年6月1日に久慈市役所関係者との打ち合わせを盛岡市地域連携推進センター（コラボ MIU）1階会議室にて行った。本研究の活動として、ブランドのコンセプト映像（プロモーション映像）の制作を実施することが再確認され、その制作援助のために、商品サンプルや生地サンプル等の素材を出来るだけ多く集めてもらうこととした。

次に、7月9日、株式会社ホップス・岩手大学・久慈市役所による産学官連携の打ち合わせを岩手大学地域連携推進センター会議室にて開催した。ここでは、自己紹介、学生作品紹介、状況報告、映像制作のための素材提供、展示品紹介などを実施した他、協議によって、学生らの株式会社ホップス訪問、東京での展示会への訪問が予定として決定した。加えて、ロリータ服を愛好する若者らの意見集約のため、愛好者が集うような何らかのイベ

ント実施の可能性も吟味した。（その後、イベント実施については、予算・時間・人手・効果の面で、今年度の本研究課題では難しいと研究室で判断した。）

後日、細かな打ち合わせができるように、産学官の本研究課題関係者においてメーリングリスト (ML) を設定し、今日までネットを介した状況報告や意見交換を行ってきている。

2. 本研究課題の実施に伴う調査やロケ撮影等について

学生らの株式会社ホップス訪問を7月16日に実施した。参加者は、武野千紘・菊地優であり、共同研究員の関本勇生が引率した。ここでの内容は、洋服のサンプル見学、ロゴやモデルのデータ提供、意見交換であった。

その後、8月9-11日の間に、武野千紘・菊地優は「東京デザインフェスタ」におけるミエレットトトゥ出店ブースへの取材に赴いた。試着などをして新商品についての見聞を広めるとともに、デザイナー佐野頼子との意見交換が大きな成果となった。この際に、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）でのコミュニティの開設などのアイデアも浮上しており、後に関連のコミュニティをmixi（ミクシィ）にて開設した。



mixi 会社の友人とつながろう

ホーム 友人を探す 学校 会社 友人を招待 アプリ コミュニティ

トップ トピック イベント アンケート レビュー このコミュニティに参加 お気に入り

コミュニティ内全トピック イベント アンケート その他のコミュニティ

MiElette Tautou ナチュロリ

気になったら、まずは気軽に参加！
参加すると書き込みもできます。

岩手発のナチュラルロリータブランド、MiElette Tautou（ミエレットトトゥ）を応援するコミュニティです☆

♪MiElette Tautouとは…

可愛いものが大好きな女の子たちが大好きな要素を、たっぷり盛り込んだお洋服を提案。
やさしい雰囲気大切に自然派少女から、レースやフリル、デコラティブな装飾を愛するロリータ少女までをとりこにする、甘くて優しく、そして時には、強気なおしゃれを追求するブランドです。

公式&通販サイト
<http://www.mielettetautou.com/index.php>

開設日：2010年08月18日
(運営期間194日)

管理人：ゆう

副管理人：-

カテゴリ：ファッション

メンバー数：17人

参加条件と公開レベル：だれでも参加できる(公開)

トピックの作成権限：参加者が作成できる

図（左）：エレットトトゥ出店ブースでの記念撮影

図（右）：SNS「mixi」におけるコミュニティの開設

http://mixi.jp/view_community.pl?id=5198118

東京での調査の後、武野千紘・菊地優は、ミエレットトトゥのイメージである森や小鳥をモチーフにした広告映像の制作のために、8月20日、教育学部の研究室でのスタジオ撮影、さらに自然観察園でのロケーション撮影を実行した。



図：学内での撮影（モデル：竹田雅恵、人文社会科学部2年）

菊地優は、白樺の林などの風景がイメージとして適合するため、久慈市平庭高原でのロケーション撮影（引率：関本勇生）を実施した。また、武野千紘は10月2日に学内のスタジオで、11月27日にイメージの合う旧石井県令邸でのロケーション撮影を実施した。



図：久慈市平庭高原でのロケーション撮影（モデル：菊地優の妹）



図：研究室スタジオでの撮影（モデル：竹田雅恵）

Ⅲ 本研究課題の成果

以上の経過報告の通り、ロケーション撮影やスタジオ撮影した映像素材に、手描きのアニメーションや映像効果などを加え、編集を工夫するなどして、武野千紘は卒業制作作品（卒業制作展における展示は、岩手県民会館にて3月9-15日の期間に実施）として、菊地優はYouTubeなど、ネット上での公開を目的とした映像作品として成果物を発表するに至った。このような映像発信によるナチュラルブランドの今後の発展に期待したい。

武野千紘の卒業制作映像作品についてのコメント

『Dress Up!』

かわいさを単純に表現したかった作品。目立って印象を強く与えることが目的。合成&エフェクトが中心だったため、素材作りはかなり時間がかかった。数多くの素材を撮影したが、最終的に入れられなかったシーンが多く、すこし心残り。自分の声を挿入したが、うまくなじまず苦勞する。

『Dreaming Girl with a closed Palace』

美しい素材をそのまま活かした構成。実は人形の夢の話だった、というオチにもっていくために苦勞した。撮影時間が限られていたために素材が多少足りず、他の撮影素材から作って足したシーンも多い。表現を文字に頼ってしまったところが反省点。

『Secret Bird』

背景の合成と、アニメーションを作成。夏のCM作成時からの課題であった、鳥が飛ぶ動きに気を配る。

菊地優の映像（アニメーション）作品についてのコメント及び感想

（デザイナーの）佐野さんがコラージュのような感じが好きだということで、映像のタイトルをコラージュで作りました。



図：コラージュによるタイトル作成

ミエレットトウの世界をどんな国のイメージで例えますか？という質問に対してはフランスの田舎のイメージということでした。久慈市はそのようなフランスの田舎のゆったりとした雰囲気を表現するのにぴったりの平庭高原があるので、平庭高原での撮影を決めました。

ミエレットトウの世界に登場する動物について伺ったところ、リスやウサギ、小鳥は最初から友達で、初めて出会うシカやクマに、一緒に驚いたりする感じとかはどうでしょう？仲良しの動物たちがレースを作ってくれたり・・・、という意見をもらったので、映像の中にもそういったストーリーを組み込んでみました。

久慈市で撮影する前に、練習として岩手大学構内で撮影をしました。撮影を通して、人工物のない場所を探すことの難しさや、スケジュール管理、必要な道具など、次の撮影のために準備すべきことがわかりました。完成した映像は YouTube で公開し、ブログやコミュニティで紹介しました。久慈市在住の方や岩手大学の方からカワイイという感想をいただきました。また、560回再生してもらいました。



図：菊地優による YouTube での公開映像作品

<http://www.youtube.com/watch?v=JJ7cXmkWTng>

ユーザーの意見を取り入れるために、2回目の撮影からは、ロリータファッションに詳しい妹に、モデルをしてもらいつつ意見をもらいました。また、撮影ではホップスさんからすでにお借りしていた衣装以外にもアンティーク風の鳥かご、ピクニックに使うバスケット、お菓子、トイピアノ、といった小道具を取り入れました。そうすることで世界観がより完成度の高いものに仕上がるように工夫しました。始めにお借りした衣装の中にはなか

ったのですが、ホップスさんはミエレットトトゥの商品の中でも特にアンクルドレスをおすすめしたようだったので、アンクルドレスを借りに行き、映像の中でも足下のアンクルドレスに注目が集まるようなシーンを入れました。映像の効果としては、森ガールが好きなトイカメラ風の効果と、ロリータの甘い雰囲気を出すためにソフトフォーカスを入れました。

私は普段、自分の感性を頼りに映像を制作しているのですが、今回はクライアントの希望に答えられるような映像を制作するという新しい挑戦が出来ました。ホップスの方やデザイナーの佐野さんからお話を伺い、それを映像に取り入れること、また、洋服を製造している久慈市の魅力を盛り込むことに力を入れました。ファッションという、軸を持って様々な方と関わり合いながら映像を制作するという事は、今までに無い達成感を感じられてよかったです。



図：菊地優による絵コンテ、アニメーション原画の例

本研究課題の実施に平行して、武野千紘は映像作品『MACH I's FACTORY』が「アート&テクノロジー東北 2010」における奨励賞、菊地優がアニメーション『れむくんのおはなし』で「第2回むつデジタル映像フェスティバル」における審査員長賞をそれぞれ受賞することとなった。このことは、この二人が本研究課題を実施するための映像制作技術をすでに習得していることの証明となるものであるとともに、地域課題解決プログラムの人材育成としての有効性も示唆するものとなった。

謝辞

本研究課題の実施につきましては、いろいろとお世話をいただきました共同研究員の関本勇生様をはじめ、株式会社ホップスの皆様、久慈市役所の関係者様、それから岩手大学地域連携推進センターの関係者様に厚く御礼申し上げます。



図：菊地優による Web サイトでの情報発信の試み
<http://paramyu.main.jp/mielettetautou/>



ご清聴ありがとうございました。